

# 事業計画書

事業名	松戸市民も命を大切にしてみます事業
団体名	松戸地域猫スタートサポート

事業概要	
<p>飼い主のいない屋外猫を増やさない為に合法的に保護をして不妊手術をする。活動をしている方、これから活動をした方、そして屋外猫に悩まれている方など全ての方を対象に悩みを解決して、動物病院や各地域などの情報交換なども含めて相談し話し合う機会の場を開催し、松戸市民の皆様が市民活動の精神を持って安全で安心して、全ての世代が住みやすい街づくりを目指す。</p>	
<p>取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）</p>	<p>猫の不妊手術をして繁殖を抑制し、元にした場所に戻した後は地域住民が餌やり・トイレ掃除のルールを決めて世話をして一代限りでの命をまっとうさせる『地域猫活動』。この活動は猫の繁殖が無くなり御近所トラブルも減るため全国で行われていて松戸市も推進中である。松戸市も少しずつ増え始めているがまだまだ周知が行き届かない。長年未解決なのが人口に対しての捕獲器の台数が極めて少ない、車の無い市民には借りる事も困難でやっと借りられても野良猫捕獲が不慣れで地域猫活動自体を諦める方がとても多い。まだ野良猫捕獲経験者が少なく、地域猫活動に興味を持って悩んで進まなく、開始時点つまづく方の支援が課題となっている。高齢化も進み家族として一緒にいた動物を最期まで看取れなくなり手放してしまう予防策が取れていない問題もある。最近では不妊手術をした猫の行き先が問題になり、元の場所に戻す事が死につながる事もある、戻る事によりご近所トラブルが再発する問題もあるので里親探しをする事が増えているが、またそれに伴い新たな問題も発生しているので他団体との協力が不可欠となる。</p>
事業の目的	<p>地域猫活動に不可欠な「猫の捕獲」「不妊手術」の疑問や不安、そして個々に活動をする孤独感を取り除き、スムーズに活動ができるように市民の皆様の助けになり、永く続けてくださる人を増やす。そしてその結果、活動実践者が増えて野良猫をめぐる住民トラブルが減り、また活動者同士のつながりを大切にすることで更に積極的に外部と接触するようになり、精神面の充足感も得られることを期待する。子供達が命の大切さと人とのつながり思いやりの心を育成して欲しい。</p>
事業内容	<p>1 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野良猫捕獲と不妊手術などのお悩み解消と地域猫活動スタート相談。</li> <li>・地域猫活動開始に不可欠の「野良猫捕獲と不妊手術」に関する疑問や不安、孤独感を解消し、地域猫活動が出来るように力を得てもらう。</li> <li>・地域包括支援センターや町会の協力を得て高齢者の飼っている猫やトラブルになる猫の飼い方などの解決、話し合いや悩み相談。</li> </ul> <p>（相談会内容）</p> <p>【捕獲】 ・捕獲器 借りられる場所、使用方法、猫を捕獲しやすい場所と餌。          ・地域猫成功の秘訣は仲間作り、ご近所の協力を得る方法など。</p> <p>【手術】 ・「野良猫不妊手術」を実際に行える動物病院と行わない動物病院。          ・松戸市で利用可能な制度 利用方法など。</p> <p>【猫の行方】</p>

- ・リリース問題解決の為に、預りの会や譲渡会に参加の勧めをし周知もする。
  - 【地域猫活動バッチ】
  - ・松戸市の環境保全課で登録すると配布されるバッチ所持の意味の再確認。
  - 【DVD鑑賞】
  - ・地域猫活動や地域での協力の仕方、不妊手術をする意味などを学ぶ。
  - 【お悩み相談】
  - ・一人での活動での限界。 ・自ら活動が出来ないなど。
  - ・高齢者が家族としているペットの飼育計画や間違った地域猫活動の修正。
  - 【外部経験者】
  - ・外部の地域猫活動経験者や団体の代表の方などからの講義。
- (郵便物発送)
- ・周知等のチラシを興味のある方や配布協力者、参加者に郵便等で発送。

## 2 スケジュール

実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
準備	地域包括支援センターと町会へ訪問。	ご案内を送り反応のあった町会や地域包括支援センターを優先に計画打合。
随時	お知らせ発送	外部経験者・郵便物宛先の選抜、確定 対象：参加された方、配布協力者 他
4月～3月	周知活動	チラシ作成、配布
4月～3月	地域猫相談会（27回） 地域包括支援センターと町会の協力時も含む。内3回は外部経験者の講義	体制：3名 対象：松戸市民 場所：公共施設（市民会館、市民センター、町会の会館等）
3月	ふりかえりアンケート集計	集計対象：これまでの参加者

既存の事業からステップアップする部分 (ステップアップ助成のみ)	益々増加する問題は高齢者が飼っていた動物の行方、病気で入院してしまい最後まで見られなくなり不幸な動物が増えています。これも屋外猫が増える事につながります、屋外猫に餌だけして寂しさを紛らわす行動が隣人トラブルになる事例も増えています。TNRのRである保護した場所に戻す事が近年ご近所トラブルになり始めていて手術後は家で保護するか里親探しをお勧めしてその際は預かり団体や譲渡会を得意とする団体に協力して頂き、そのチラシ作成時には内容を書いて周知します。今年度も地域包括支援センターに引き続き協力を求めていき、最近町会の方から御連絡が増えて僕達が望む町会レベルでの活動が活発になると期待し、同時に会員が減ってしまっている町会も会員が増えて地域のコミュニティが上手くいけたら良いと考えます。
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談会等の開催では1回の参加人数8名以上（基本の相談会、市民センターなど・地域包括支援センターや町会の協力時も同様）</li> <li>・猫の譲渡会の出席で新しい家族を見つける確率を80%以上を目標にする。</li> <li>・アンケートで「地域猫活動を理解した」を80%以上。</li> </ul>
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談会の参加をきっかけに地域猫活動の実践者を増やす事で、より多くの市民に役立つ情報を共有し、実践につなげてもらいたい。</li> <li>・多くの市民の皆様には伝われば、結果は出るので周知を主に力を入れる考えです。</li> <li>・預りさんや譲渡会の参加をお勧めして、屋外猫を減らす事を実現したい。</li> </ul>

## 事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科 目	金 額	積算内訳
団 体	団体拠出金	¥ 144,390	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 144,390	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 444,390	

【支出】

	科 目	予算額	積算内訳
助 成 金 の 交 付 対 象 経 費	報償費	¥ 15,000	・外部経験者謝礼 5000円*3回
	消耗品費	¥ 20,000	・OA用紙(5000枚5159円) ・インク代(1セット7273円) ・コロナ対策衛生品(5500円) ・ペン等の文具(2068円)
	食糧費	¥ 32,400	・参加者用お茶代 (120円*10本*27回)
	印刷製本費	¥ 107,250	・チラシ印刷費 (A4 1.65円*65000枚)
	委託料	¥ 122,100	・チラシ配布委託 (4.07円*30000枚)
	使用料及び賃借料	¥ 52,040	・会議室 380円*4時間*22回 930円*4時間*5回
	通信運搬費	¥ 14,600	・定形郵便物 50g以内 94円*100通(参加者・配布協力者等) ・レターパック520円*10個 (配布協力者)
	対象経費の合計 (D)		¥ 363,390
そ の 他 経 費	交通費	¥ 40,500	構成員交通費 500円*3人*27回
	食糧費	¥ 40,500	構成員昼食代 500円*3人*27回
	その他経費の合計 (E)	¥ 81,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 444,390	

**【チェック項目】**

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。